

平成28年3月亀岡市議会定例会一般質問

亀岡市議会

平成28年3月亀岡市議会定例会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者（会派名）			質問方式		
3月8日(火)	10:00～	代表	1	石野 善司（新清流会）	一括		
	11:20～		2	三上 泉（共産党議員団） 質問	一括		
				休憩			
	13:00～			答弁			
	13:40～		3	木曾 利廣（緑風会）	一括		
			休憩				
	15:20～		4	山本由美子（公明党議員団）	一括		
3月9日(水)	10:00～	個人	5	齊藤 一義	一問一答		
	10:35～		6	並河 愛子	一問一答		
	11:10～		7	平本 英久	一問一答		
				休憩			
	13:00～		8	富谷加都子	一問一答		
	13:35～		9	菱田 光紀	一問一答		
	14:10～		10	馬場 隆	一問一答		
				休憩			
	15:05～		11	明田 昭	一問一答		
	15:40～		12	藤本 弘	一問一答		
	3月10日(木)		10:00～	個人	13	小松 康之	一問一答
			10:35～		14	田中 豊	一問一答
11:10～		15	奥村 泰幸		一問一答		
			休憩				
13:00～		16	小川 克己		一括		
13:35～		17	小島 義秀		一問一答		
14:10～		18	奥野 正三		一問一答		
			休憩				
15:05～		19	酒井安紀子		一問一答		
15:40～		20	湊 泰孝		一問一答		

1回目の質問後休憩

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

平成28年3月亀岡市議会定例会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	石野 善司 (新清流会) 3月8日(火) 10:00~ 代表質問 (一括)	1 平成28年度 一般会計予算につ いて 2 第4次亀岡市 総合計画後期基本 計画について 3 子育て支援策 について 4 球技専用スタ ジアム計画につ いて	<p>桂川市政初の一般会計当初予算案が提案された。</p> <p>(1)平成28年度予算編成方針について 予算編成の基本的な考え方は。 今後の収支見通しは。</p> <p>(2)財政の健全化を図るには、基金に依存することなく身の丈に合った歳出規模とする必要がある。創意工夫による新たな歳入確保も含め「入りを計りて出るを制す」を徹底し、限られた財源を最大限有効に活用していかなければならない。自主財源確保をいかにするか、新たな財源確保の施策の考えは。</p> <p>(3)主要3基金(財政調整基金、減債基金、公益施設整備基金)は、平成27年度末見込みで基金残高約13億1千万円。平成28年度当初予算で、財政調整基金を3億5千万円取り崩し、主要3基金の見込み残高は9億6千万円となる。財政構造の硬直化もさらに進んでくる状況であるが、このことをどのように考えているか。</p> <p>この総合計画は21世紀を展望した本市の将来像、将来目標とその達成に向けての羅針盤となる施策が示されたものである。</p> <p>(1)市長が示している「かめおか・未来・チャレンジビジョン」と後期基本計画との整合性は。</p> <p>(2)後期基本計画のシンボルプロジェクトとは。</p> <p>(3)後期基本計画の進行管理は。</p> <p>(4)後期基本計画の目指す目標は。</p> <p>第4次亀岡市総合計画後期基本計画第3章第3節「子育て支援」、「現状と取り組むべき課題」に、共働き家庭の増加などに対し、子育てと仕事の両立が図れるよう、利用しやすい保育サービスの充実が掲げられている。</p> <p>(1)保育所(園)への入所の現状は。</p> <p>(2)公立保育所(8園)の定員に対する入所人数は。</p> <p>(3)民間保育園(7園)の定員に対する入所人数は。</p> <p>(4)保育所(園)に入れない現状はあるのか。</p> <p>(5)今後の対応策は。</p> <p>京都府は、本市で建設予定の球技専用スタジアム計画について、4月に予定の本体工事の着手を先送りする方針とした。予定地周辺に生息する国の天然記念物アユモドキに関する影響調査分析が長引いていることが要因であり、スタジアム計画は以前の予定を1年延ばして4月着工の予定が、さらに遅れ、1年ほど先送りのようであるが、着工先送りは地元には波紋を投げかけている。</p> <p>(1)市長の所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>5 北陸新幹線「小浜ルート」実現について</p> <p>6 京都市とのアクセス道路整備について</p> <p>7 旧京都地方法務局亀岡出張所跡庁舎借上げについて</p> <p>8 市営住宅つつじヶ丘団地建替事業について</p> <p>9 都市計画道路馬堀停車場篠線について</p> <p>10 市道北古世西川線について</p>	<p>「小浜ルート」は昭和48年に整備計画として閣議決定され、本市付近を通り、大阪へ向かう唯一決定されたルートである。40年来の口丹波の悲願を結実させるべく、2016北陸新幹線小浜ルート建設促進総決起大会がガレリアかめおかで開催され、整備計画に基づく小浜ルートでの建設実現を強く要望されたところである。</p> <p>(1)市長の現在の心境は。</p> <p>国道9号のダブルルート実現に向けて、近年は局所豪雨をはじめ台風、積雪等異常気象で国道9号及び京都縦貫自動車道が通行止めになる度に本市は陸の孤島となっている。国道9号ダブルルート化の必要性の機運を高めていくことが重要であると考え。</p> <p>(1)市長の所見は。</p> <p>本年2月1日から京都地方法務局亀岡出張所は園部支局へ統合された。そこで亀岡出張所跡の庁舎を「亀岡市保護司会サポートセンター」として活用できないかと考える。</p> <p>(1)市長の所見は。</p> <p>平成3年度に公営住宅再生マスタープランを策定し、このプランをもとに効率的な建替事業が推進されてきた。団地敷地を五つのブロックに分け、平成11年度から13年度で第1期工事として第1ブロック「つつじヶ丘住宅A棟」が完成。つづいて平成17年度で第2ブロックB棟が完成。第3ブロックで「東つつじヶ丘ふれあいセンター」を平成22年度に建設。第5ブロックでは23年度で「東つつじヶ丘公園」を建設。平成27年度に第4ブロックを売却。</p> <p>(1)残る第3期工事「C棟建設予定」計画概要、進捗状況と今後の見通しは。</p> <p>都市計画道路馬堀停車場篠線について問う。</p> <p>(1)進捗状況と今後の見通しは。</p> <p>市道北古世西川線について問う。</p> <p>(1)進捗状況と今後の見通しは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
2	<p>三上 泉 (共産党議員団) 3月8日(火) 11:20~</p> <p>代表質問 (一括)</p>	<p>1 市民の命を脅かしかねない安全保障法制について</p>	<p>昨年9月に安全保障法制が強行採決され成立したが、その具体的施行が始まろうとしている。南スーダンにPKO活動として派遣されている自衛隊は、2月までの任務が10月まで期間延長された。5月からの第10次派遣隊には新たな任務が付与され、初めて殺し殺される事態に遭遇する危険性が高まっている。国民の懸念をよそに、安倍首相が新たに表明した「緊急事態条項」の創設については、多くの疑問や批判の声が立場を越えて相次いでいる。</p> <p>(1)12月定例会で、市長は「安全保障関連法に対するさまざまな意見や懸念に対して政府は謙虚な姿勢で向かい合い、国民への説明責任を果たして</p>	<p>市長</p>

		<p>いく必要がある」と答弁されたが、現在において、国は国民への説明責任を十分に果たしていると考えているか。</p> <p>(2) 「緊急事態条項」の創設に対する所見は。</p> <p>(3) 平成28年度に亀岡市民の方で自衛隊に入隊される数を把握しているか。また、過去数年の亀岡市民の自衛隊入隊の数は。</p> <p>(4) 自衛隊員のリスクを低減するためにも、安全保障法制による新たな任務の付与はしないよう求めるべきだが所見は。</p>	<p>京都府は、球技専用スタジアム計画について、アコモドキに関する影響調査分析には時間が必要であり、4月に予定していた本体工事着手を先送りすることとした。専門家によると簡単に結論の出る問題ではないという声も聞かれる。</p> <p>(1) 京都府の計画1年先送りについての所見は。</p> <p>(2) アコモドキの保全・調査関連で亀岡市がこれまで支出してきた費用の総額は。</p> <p>(3) 今後予想される支出額は。</p> <p>(4) アコモドキは時間とお金をかけて守っていくものであり、スタジアムとは切り離して、国や府にも保全に責任を持ってもらい、建設と保全の両立の見通しがもてない場所でのスタジアム建設は見直すべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 スタジアム建設について</p> <p>3 総合計画・総合戦略について</p>	<p>人口減少に歯止めをかけ、魅力あるまちづくりを進めることが求められる。定住人口増加、安全・安心のまちづくり、交流人口増加によるにぎわいの創出等に様々な工夫と努力が求められている。</p> <p>(1) 子どもの医療費無料化制度の拡充で、府内各自治体が努力しているが、通院については、いまだに就学前までとなっており、3歳未満としている京都市に次ぐ低さである。議会での請願採択を重く受け止め、1学年ずつでも拡充すべきではないか。</p> <p>(2) 子どもの医療費無料化のペナルティの完全廃止や、そもそも国の制度とすることを、国に対し求めるべきだと考えるが所見は。</p> <p>(3) 学校教育条件整備を図るうえで、平成29年度からとされている普通教室へのエアコン設置の完了目標時期と年次計画は。</p> <p>(4) 中学校給食の実施に向けた具体的な年次計画は。</p> <p>(5) 出生率を上げるためには周辺地域の充実が不可欠である。地域の学校や公共施設をしっかりと残し充実させる必要性をどの程度認識しているか。</p> <p>(6) 小規模校の統合よりも、過密校の課題解消が急務である。安詳小学校の過密化による課題をどのように認識しているか。また、その対策は。</p> <p>(7) 介護報酬単価が改定され、全国で介護施設の運営が立ち行かない事態が生まれているが、亀岡市における影響を把握しているか。また、必要な対策を講じているのか。</p> <p>(8) 国に対して、介護報酬削減を中止し、引き上げ</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>	

			<p>に転換するよう求めるべきであると考えているが所見は。</p> <p>(9) 観光施策について、地域住民が住みよいと感じるまちづくりと連動させなければ、にぎわいも観光客のリピートも生まれないという考え方から、全国各地で創意工夫が始まっている。市民の暮らしや営業と観光施策を結びつける視点や方策を持っているか。</p> <p>(10) スポーツを生かしたにぎわいづくりを強調しているが、文化活動については低い水準にある。まともに音楽や舞台を鑑賞できる場所を、今後どのようにつくっていくのか。</p> <p>(11) 市民の文化活動の場所を確保すると言っているが、現在の状況は。</p>	
3	<p>木曾 利廣 (緑風会) 3月8日(火) 13:40~</p> <p>代表質問 (一括)</p>	<p>1 平成28年度 予算編成について</p> <p>2 安全・安心の まちづくりのため のハザードマップ について</p> <p>3 本市職員と京 都府及び国の機関 等との人事交流に ついて</p> <p>4 子育て支援の 拡充について</p> <p>5 道路行政につ いて</p>	<p>平成28年度予算編成の基本方針として「市民力で未来を拓く！～選ばれるまち 住み続けたいまち～かめおか・未来・チャレンジビジョンの推進」を掲げた予算内容について問う。</p> <p>(1) 予算編成にあたり、最も苦労した点は。</p> <p>(2) 第4次総合計画後期基本計画にある夢ビジョン推進の要点は。</p> <p>(3) ふるさと納税を含む、長期的な自主財源確保の計画は。</p> <p>(4) 住み続けたいまちになるための重要な予算は。</p> <p>近年増加する異常気象によるゲリラ豪雨に備え、特に市民や観光客等が集中して利用するJR4駅での避難場所及び対策が必要と考える。</p> <p>(1) JR4駅周辺の防災ハザードマップはあるのか。</p> <p>(2) 避難の方法や駅周辺の状況告知はJRと連携が取れているのか。(特に朝・夕のラッシュ時)</p> <p>桂川市長が掲げる市役所職員の能力発揮と地方創生の実現のための一つが、京都府や国との人事交流だと考える。</p> <p>(1) 地方創生に積極的に取り組んでいる自治体と、市長の人脈を生かしトップセールスで人事交流を行い、さらに人材を育成すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 京都府や国との人事交流で、さらなる選ばれるまちへと躍進すべきと考えるがどうか。</p> <p>豊かな心と文化を育むまちづくりを推進するために、子育て支援策のさらなる充実は。</p> <p>(1) 子育て支援策のための特区申請をしてはと考えるがどうか。</p> <p>(2) 平成28年度当初予算で放課後児童会の対象学年が5年生まで拡充されたが、さらなる充実はあるのか。</p> <p>国道9号の混雑緩和を目的に、市道中矢田篠線(篠工区)が2月24日に完成した。国道9号の渋滞は、少しは緩和されたが、スタジアムが完成すれば渋滞が起こればと考える。さらに市道北古世西川線の整備と都市計画</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 被災者支援システムについて</p>	<p>(3) ストレスチェックの結果において、職場で不利益を被る恐れがあるなどの不安を払拭するための環境整備が重要だと考えるが対策は。</p> <p>(4) 本市の各企業団体にも啓発する考えは。</p> <p>平時より、災害発生時に住民本位の迅速な行政サービスを提供できる体制づくりが必要であり、そのためにも阪神・淡路大震災の教訓と実績に裏打ちされた被災者支援システムの導入を求めてきた。</p> <p>(1) 京都府と連携したシステムの概要、進捗状況及び運用に向けたスケジュールは。</p> <p>(2) 本年1月から施行されたマイナンバー制度は被災者生活再建支援金の給付や被災者台帳の作成事務など災害対策にも活用できるとされているが、本システムにおけるマイナンバーの活用により、利便性の向上、煩雑性の解消が図られるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 「災害廃棄物処理計画」策定について</p>	<p>東日本大震災の経験を踏まえ、災害廃棄物の処理を適正かつ迅速に行うための災害廃棄物対策指針が平成26年3月に策定され、各都道府県や市町村では、この指針に基づき処理計画を作成することが求められている。</p> <p>(1) 本市における「災害廃棄物処理計画」策定の現状と今後の取り組むべき課題は。</p> <p>(2) 現段階での廃棄物にかかる、仮置き場の設定及び相互支援協定締結の状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 避難行動要支援者の支援対策について</p>	<p>東日本大震災の教訓を生かし、災害対策の強化を図るため、平成25年6月に災害対策基本法が改正された。この中で、市町村に避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられるなど、円滑かつ安全な避難を確保するための措置の拡充が施された。</p> <p>(1) 避難行動要支援者名簿の作成状況と対象人数は。</p> <p>(2) 対象者のうち、平時から支援者に名簿を提供することに同意をされた方、不同意の方、また返信のなかった方など実態は。</p> <p>(3) 避難行動要支援者名簿の提供先は。</p> <p>(4) 避難行動要支援者名簿の情報を共有し、災害時の個別計画を事前に細かく決めて訓練するなど、活用方法についての考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>6 木造住宅耐震化促進事業について</p>	<p>災害に強い安全・安心なまちづくりをめざし、「亀岡市建築物耐震改修促進計画」を策定し、あわせて木造住宅耐震化促進事業も創設し、昭和56年5月31日以前に完成した木造住宅（旧耐震基準で建築）の耐震化を進めている。</p> <p>(1) リフォームに合わせた耐震改修も補助金の対象となるのか。（耐震改修にかかった費用に対して）</p> <p>(2) 耐震シェルター設置を補助金の対象にする考えは。</p> <p>(3) 平成25年に改正された「建築物の耐震改修の促進に関する法律」を踏まえ、「亀岡市建築物耐震改修促進計画」（平成27年度末で終了）を今後新たに改訂される予定となっているが、どのよ</p>	<p>市長 所管部長</p>

		7 子どもの貧困対策について	<p>うな点が変わるのか。 (4) 耐震化促進、普及のためのさらなる啓発は。</p> <p>子どもの貧困率が平成24年時点で過去最悪の16.3%となり、子どもの6人に1人が平均的な所得の半分を下回る額の世帯で暮らしている。このような状況を背景に、平成25年6月、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が成立し、その法律に基づき、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指して、「子どもの貧困対策を総合的に推進するための大綱」が平成26年8月29日に閣議決定された。</p> <p>(1) 子どもの貧困の実態をどう把握し、認識されているのか。 (2) プラットホームとして学校の役割をどうとらえているか。 (3) 学校による学習支援や地域住民(大学生や元教員など)による学習支援の充実についての取り組みは。 (4) 子どもたちを取り巻く環境は、子どもの貧困を含め複雑化・多様化していることから社会福祉の専門的な知識や技能を備えているスクールソーシャルワーカーの役割が非常に重要であると考えますが、現状と今後の対応は。 (5) 準要保護に支給される就学援助の新入学児童生徒学用品費について、入学前に前倒して支給できないか。</p>	市長 教育長 所管部長
5	齊藤 一義 3月9日(水) 10:00~ 一問一答	1 選ばれるまち、住みたいまちについて	<p>市長の「かめおか・未来・チャレンジビジョン」に基づき、平成28年度当初予算案の概要においても、「選ばれるまち、住みたいまち」をビジョンとした予算編成の基本方針が出されたところであるが、様々な調査によるランキングやアンケートから見える本市の課題がある。</p> <p>(1) 「住みたい街」「住みよさ」のランキングから読み取れる、本市の目指すべきまちの方向性を問う。 (2) 「住みよさランキングの府内1位をめざす」とされているが、そのためには何が必要と考えるか。 (3) 行政サービス向上に、補助金に頼らない公民連携の地方創生モデル(岩手県紫波町の「オガールプロジェクト」)を参考にしているかどうか。</p>	市長 所管部長
		2 まちづくりについて	<p>全国のまちづくりの先進地では、各種イベントや観光キャンペーンに「タウンプロデューサー」や「コミュニティデザイナー」が参加して成功している例が沢山見受けられる。</p> <p>(1) 本市のまちづくりにプロのプロデューサーの知恵を借りてはどうか。</p>	市長 所管部長
		3 観光交流人口の増大について	<p>定住人口1人当たり年間消費額(約125万円)を旅行者の消費に換算すると、日帰り客で84人分、宿泊客で27人分、訪日外国人客で9人分に当たると言われている。これは、定住人口の年間約500人減少</p>	市長 所管部長

		<p>4 視覚障害者支援について</p> <p>5 いじめについて</p>	<p>を補うためには、外国人観光客の場合、4500人分の拡大が必要ということである。人口減少の本市において、観光交流人口を増やし経済効果を図ることは、財政的にも急務であると考え。</p> <p>(1) 地域全体の観光スポットを一体化する着地型観光の基盤・環境づくりを担うDMOの取り組みへの所見は。</p> <p>セーフコミュニティの本市において、誰でも安全・安心を感じていただくため、視覚障害の方が所持される白杖の「お手伝いしてください」のサインへの支援が必要と考える。</p> <p>(1) 白杖で公共バスに乗車される際、乗務員にて車外・車内放送を徹底するなど、事業者に安全確保のマニュアル化をお願いされてはどうか。</p> <p>「亀岡市いじめ防止基本方針」に基づく取り組みがされているが、子どもたち自身が話し合いで解決する「ピア・メディエーション」の取り組みの導入について問う。</p> <p>(1) 本市小・中学校において、いじめ防止に「ピア・メディエーション」を導入してはどうか。</p>	<p>所管部長</p> <p>教育長</p>
6	<p>並河 愛子</p> <p>3月9日(水)</p> <p>10:35~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 国民健康保険事業について</p> <p>2 観光行政について</p> <p>3 住宅改修助成制度について</p>	<p>払いたくても払えない国保料を引き下げてという市民要望は強い。短期証発行で病院に行きたくても行けない等、改善が求められる。</p> <p>(1) 短期保険証の発行について1、2、3、6カ月の状況はどうか。</p> <p>(2) 滞納世帯への接触、支援はどうか。</p> <p>(3) 短期証の発行はやめるべきと思うがどうか。</p> <p>(4) 今定例会に限度額引き上げが提案されている。「中間所得者層等の保険料負担に配慮するものである。」とされているが、効果はどうか。</p> <p>(5) 一般会計からの繰り入れをルール化すべきと思うがどうか。</p> <p>少子高齢化といわれて本市も例外ではない。地域の活性化に地元関係者をはじめ、商工業者も努力をされている。京都市に近く交通の利便性もよく、近年、多くの観光客が本市に来られている。</p> <p>(1) 本市の観光アピールはどのようにされているのか。</p> <p>(2) 「キラリ 亀岡」で紹介されたロケ地としても多くの場所が利用されている。ロケ地めぐりなど新たな取り組みの考えはどうか。</p> <p>東日本大震災から今年の3月11日で5年となる。同じような災害が発生すれば、甚大な被害が予測される。耐震化は、喫緊の課題である。</p> <p>(1) 地域経済活性化に効果のある住宅改修助成制度創設の考えはどうか。</p> <p>(2) 若い職人を育成していく上で仕事の確保は重要である。全国的に若い職人が減少している中、技術の継承としても地元の業者育成は重要である。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		4 公共施設のあり方について	<p>住宅改修で耐震補強を行い、災害に強いまちづくりを推進することができる。所見は。</p> <p>厚生会館に続き亀岡会館、そして今年の3月で中央公民館も休館されると聞いている。イベントや集会等大きな役割を果たしてきた施設が使えなくなることは、市民にとっても損失である。市民が気軽に使える施設の建設が待たれる。また、新資料館など新しい施設建設も待たれている。</p> <p>(1) 公共施設の存在、あり方の考えはどうか。 (2) サークルなどで利用されていた方の代替の場所確保はどうか。 (3) 閉館された施設の今後の方向性は。 (4) 新資料館の建設計画はどうか。</p>	市長 教育長 所管部長
7	平本 英久 3月9日(水) 11:10~ 一問一答	1 地域公共交通について	<p>篠町地区でのコミュニティバスの試験運行について問う。</p> <p>(1) コミュニティバスの試験運行の期間内に運行計画に関して修正や変更等はあるのか。 (2) コミュニティバスのより良い本格運行に向けて今後どのような作業や工程があるのか。</p>	市長 所管部長
		2 交通安全対策について	<p>本市における交通安全対策について問う。</p> <p>(1) ゾーン30篠町詳徳地区について、現段階での成果はどうか。 (2) 市道中矢田篠線全面開通により交通量が増加していると思われるが、安全面や通行の調査は行っているのか。 (3) 児童や高齢者の安全確保を望む声があるが注意喚起やパトロールの強化などの対策は検討しているのか。 (4) 交通安全と防犯のうえで市道中矢田篠線に面して交番設置を希望する声があるが、検討は可能か。 (5) 市道山本学校線から安詳小学校横を西方向に向かう道路は、中・高校生が通学のため夜間通ることがあるが街灯がない。街灯設置の計画はあるのか。</p>	市長 所管部長
		3 保育環境の整備と拡充について	<p>潜在的待機児童の課題について問う。</p> <p>(1) 現時点の潜在的待機児童の人数は。また、今後どのように対応するのか。 (2) 根本的な問題は何か。また、対策は講じているのか。 (3) 今後新たな対策を検討しているのか。</p>	所管部長
		4 人口減少について	<p>人口減少について問う。</p> <p>(1) 昨年一年間の人口の増減はどのように推移しているのか。 (2) 転出の理由を把握しているのか。また、把握することは可能か。</p>	市長 所管部長
		5 空き家対策について	<p>「空き家等対策の推進に関する特別措置法」関連の本市の取り組みについて問う。</p> <p>(1) 12月定例会において空き家の実態については</p>	市長 所管部長

		<p>6 本市における農業の発展について</p>	<p>27年度中に把握したいとの答弁であったが、現在の件数や所在地の把握の進捗状況は。</p> <p>(2) 空き家対策を進めるうえで所管はどこになるのか、調査研究や空き家対策計画はどのように進めるのか。</p> <p>本市において重要な産業である農業の維持発展について問う。</p> <p>(1) 多くの京野菜の産地である本市において、例えば篠町でのかぶら作りなど伝統的な農業を守り伝えていくうえで、後継者不足に悩む農家が多い中、今後どのような対策を講じていくのか。</p> <p>(2) 後継者不足を解消するために、幅広く新規就農希望者やIターン・Uターン希望者の募集などは行っているのか。また、就農のサポートは円滑に進んでいるのか。</p>	所管部長
8	<p>富谷加都子 3月9日(水) 13:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 介護保険事業について</p>	<p>本市も、高齢者が住み慣れた地域で安全安心に最期まで暮らせる地域包括ケアシステム構築のため、さまざまな取り組みを進めているところである。そこで、改正介護保険法による、平成29年スタートの「新総合事業」への移行に向けての視点や、今後の介護保険事業の姿勢を問う。</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みの進捗状況は。</p> <p>(2) 完全移行の目標時期は。</p> <p>(3) 生活支援コーディネーターの配置確保は。</p> <p>(4) 訪問型B・通所型Bに移行の際の、基本的な市の考え方は。</p> <p>(5) 介護事業者によるサービス維持の確保について、市の考えは。</p> <p>(6) 介護老人福祉施設の入所待機者数と動向は。</p> <p>(7) 地域福祉構築のため、専門職である地域包括支援センターの役割が増大している。人的配置を手厚くし、強化する必要があると考えるが、市の考えは。</p> <p>(8) 在宅療養を継続するための医療体制の確保は。</p> <p>(9) 若年性認知症の人への、支援の取り組みは。</p>	所管部長
		<p>2 自治会について</p>	<p>地方創生が叫ばれる中、最前線の自治会組織の強化が重要と考えるが、市民の認識不足を感じる。さらなる自治会加入促進の取り組みを期待する。</p> <p>(1) 本市において、次年度からの加入率の目標が、「維持」との設定だが、その根拠は。</p> <p>(2) 自治会の必要性についての広報拡大の考えは。</p>	所管部長
		<p>3 にぎわい創出の取り組みについて</p>	<p>市として、さらなる交流人口を増やすため、さまざまな計画を後期基本計画に取り入れるところであり、方向性を問う。</p> <p>(1) 霧の亀岡として魅力発信を打ち出され、ホームページでスポット募集をかけているが、今後の展開の詳細は。</p> <p>(2) 新たな観光創出として、一部の市民から動物園や水族館までは望まないが、せめて動物と触れ合</p>	市長

		4 通学路安全対策について	<p>える場があればとの声を聞く。今後、市として検討は可能か。</p> <p>2月24日に市民待望の市道中矢田篠線が開通した。国道9号の渋滞緩和や京都縦貫自動車道へのアクセスが向上したとの喜びの声と、児童の多い団地内横断ということで、不安の声がある。より一層の安全対策強化を期待する。</p> <p>(1) 開通後の住民への聞き取りや点検の計画はあるか。</p> <p>(2) 安全周知の看板増設の考えは。</p>	所管部長
9	<p>菱田 光紀 3月9日(水) 13:35~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 ふるさと納税について</p> <p>2 市道中矢田篠線の西伸について</p> <p>3 亀岡運動公園体育館の雨漏り対策について</p>	<p>桂川市長は、ふるさと納税額を1億円にしたいと言われている。そのためには、個人とあわせて平成28年度地方税制改正による「企業版ふるさと納税」にも取り組む必要がある。一方、スタジアム建設に対してアユモドキの生息環境に影響を及ぼすと危惧する声がある。今こそアユモドキでさらに亀岡を発信すべきだ。</p> <p>(1) ふるさと納税の本市における状況はどうか。</p> <p>(2) ふるさと納税の選べる使い道として9事業があがっている。どの事業にどれくらいの割合で寄附されているのか。</p> <p>(3) 9事業のうち「アユモドキが棲めるきれいな環境を守る事業」について、保全のための手法などをもっとわかりやすくアピールし、環境先進都市を明確に打ち出す中で、ふるさと納税によるより多くの協力を要請すべきではないか。</p> <p>(4) アユモドキの生息環境を守るため、この寄附金を使い関係流域での市民生活や農業において環境にやさしい取り組みを充実することが大事だ。例えば、上流の森林を「アユモドキの森」として保全し、とれた米は「アユモドキ米」としてふるさと納税のお礼の品として活用することで亀岡をPRする取り組みを行ってはどうか。</p> <p>(5) 亀岡には既に80人を超える新規就農者が誕生していると聞く。ふるさと納税の選べる使い道として「新規就農者が農家として定着することを支援する事業」を加えてはどうか。</p> <p>市道中矢田篠線は、2月24日に篠工区の供用開始により全線開通した。これを西伸し亀岡インターと接続することで篠町合戦野から大井インター間が国道9号、京都縦貫自動車道に次ぐ第三の主要ルートとして交通の利便性を高めることになる。</p> <p>(1) 篠工区の竣工、全線開通により交通量はどうか。</p> <p>(2) 亀岡インターまでの開通に向けて取り組むべきではないか。</p> <p>亀岡運動公園体育館については、京都国体のバスケットボール会場として建設された。年数が経ち多くの修繕が必要だが雨漏りは特に深刻である。</p> <p>(1) 雨漏りを放置すれば被害が広がる。対応策の検討は進められているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

10	<p>馬場 隆 3月9日(水) 14:10~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 原子力発電所再稼働問題について</p> <p>2 安心して医療・介護、子育て支援が受けられる亀岡市の実現について</p> <p>3 京都スタジアム建設計画について</p> <p>4 北陸新幹線計画について</p>	<p>関西電力は去る2月26日、高浜原発4号機（福井県高浜町）を再稼働させた。同機は、再稼働に向かう最終工程の20日に原子炉などの1次冷却水が漏れるトラブルを起こしたが、予定を変えずに起動させた事は、遺憾の念を禁じ得ない。</p> <p>本市は同発電所から50km圏内にあり、原子力災害を想定した本市防災対策は不可欠である。</p> <p>(1) 高浜原子力発電所再稼働問題について再稼働に対して市長の所見は。 中間貯蔵施設建設に対して市長の所見は。</p> <p>(2) 亀岡市原子力災害対策計画について計画の目的は何か。 毎年の検討と修正は、どう図られるのか。 広域避難者の一時受け入れは、どこから、何人規模で、どこへ受け入れようとするのか。 放射線等の被曝から一時避難できる場所は何箇所か。 安定ヨウ素剤の備蓄はどこで行われるのか。 市民への配布はどんなされるのか。</p> <p>(3) 再稼働ストップ、原発ゼロ社会こそ求めるものではないか 自然エネルギー・再生可能エネルギー普及の方策は。</p> <p>介護における諸問題について問う。</p> <p>(1) 特別養護老人ホームの待機者対策は。</p> <p>(2) 予防給付見直しの概要は。 子育て支援策の抜本的充実について問う。</p> <p>(3) 保育施策の充実について潜在的待機児童解消への方策は。 保育士の人員補強は。 保育料無償化の拡充は。</p> <p>(4) こども医療費の無料化拡充について1歳ずつの無料化延長は考えられないのか。 その場合の経費はいくらになるのか。</p> <p>吹田市では、ガンバ大阪（J1）が、民間の資金を結集しスタジアム建設を行い、こけら落としには4万人のサポーターが結集した。京都府は建設計画を1年先延ばししたが、適地選定に誤りがあったと言わざるを得ない。</p> <p>(1) 京都府の計画一年先送りについて京都・亀岡保津川公園関連事業経費との整合性は。</p> <p>北陸新幹線延伸問題は、自治体財政の問題のみならず環境、公共交通の在り方々々、住民生活にとって重大な影響を及ぼす問題であり、開かれた議論が必要となっている。そこで、以下の点を質問する。</p> <p>(1) 市長の基本的スタンスは。</p> <p>(2) 1兆円超が確実（朝日2/7）と報道されている多額の建設費は、3分の1が地元負担である。亀岡市は、いくらの負担になると判断しているのか。</p> <p>(3) 新幹線が並行する在来線がある場合、在来線は</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長</p> <p>市長 所管部長</p>
----	--	---	--	--

			<p>J Rから切り離されるが、亀岡市の判断を問う。 (4) 地域経済の活性化は、住民から見た市内公共交通の充実、中小企業支援に軸足を置くべきだが、所見を問う。</p>	
11	<p>明田 昭 3月9日(水) 15:05~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 城下町地区の賑わいについて</p> <p>2 公共施設について</p> <p>3 にぎわい創出について</p> <p>4 電線類地中化について</p> <p>5 市立病院につ</p>	<p>去る2月15日、南丹都市計画事業亀岡駅北土地区画整理事業の起工式が行われ、地権者・行政関係者や施工業者らが工事の早期完成と安全を願ったと報道されていた。これらの開発は亀岡市の今後に大変重要であるが、一方今日まで亀岡市の玄関口として位置付けられてきた駅南地区(城下町地区)が気がかりである。住み続けたいまち、新たな亀岡市の実現に向けての所見を問う。 (1) 駅北・駅南の果たした役割は。 (2) 駅北・駅南の今後の展望は。</p> <p>亀岡城下町地区、自治会単位で言えば亀岡地区中部自治会になるが、市の公共施設があり、それがまさしく亀岡会館であり、中央公民館や文化資料館である。昨年は市制60周年の年であり、経年劣化や耐震強度不足が露呈し使用停止、また中央公民館については3月末をもって使用できなくなる。これら公共施設について問う。 (1) 亀岡会館の今後の見通しは。 (2) 中央公民館の今後の見通しは。 (3) 文化資料館の今後の見通しは。 (4) 新資料館構想策定委員会の検討結果は。</p> <p>時代劇村構想が、俳優の榎木孝明氏によって提唱され、京都府副知事とも話が進んでいるようであるが、本市においても、今日までロケ地として選ばれたことを思うと適地と考える。 (1) 今、進められている時代劇再生運動とは、どのようなものか。 (2) 本市への誘致の考えは。 (3) 具体的な動きがあるのか。あればその進捗状況は。</p> <p>口丹波地方の最大の祭りである亀岡祭(鍬山神社秋季大祭)が、五穀豊穣に感謝して10月20日から10月25日まで6日間にわたり繰り広げられている。中でも23日の宵々山から24日の宵宮、そして25日の集結式から続いて巡行が行われ、クライマックスを迎えるが、囃子方や旅籠町の集結場所への移動には大変な苦勞が伴う。 総勢11基の山や鉾があるが、特に翁山鉾(三宅町)は遠距離でしかもクニッテル通りを横断するため、鉾本来の姿ではなくなる。他の山や鉾についても言えるのではないが、この際、気持ちを新たにして電線の地中化をする必要があると考える。 (1) 電線類地中化の計画は進んでいるのか。 (2) 電線類地中化と景観条例との関係は。</p> <p>亀岡市立病院改革プランが平成21年度から25年</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>病院事業管理者</p>

		いて	<p>度まで実施され、一定の成果があったと理解しているが、その後26、27年度と厳しい経営が続いているようである。その後の改善策は如何なものか。また京都府の方針も病院単体でなく南丹医療圏としてどうあるべきかに検討の方針が出されているようである。</p> <p>(1) 就任以来1年が過ぎているが、病院長の抱負は。</p> <p>(2) 南丹医療圏で亀岡市立病院の果たす役割は。</p> <p>(3) 本市は、大学病院をはじめ大規模病棟数を有する民間の急性期病院が多くある京都市と隣接しているが、今後どのような対応が必要なのか。</p>	職務代理者
12	<p>藤本 弘</p> <p>3月9日(水)</p> <p>15:40~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 ふるさと納税1億円をめざす政策推進について</p> <p>2 亀岡市プレミアム付き電子商品券「亀岡プレミアムカード」について</p> <p>3 企業誘致について</p>	<p>厳しい財政状況の中、今やふるさと納税は、新たな財源として各自治体で注目を浴びてきている。今後、このふるさと納税をどう伸ばすかが自治体の「ふるさと創生」に大きく関わってくる。</p> <p>(1) 「京都・亀岡ふるさと力向上寄附金(ふるさと納税制度)」についてのホームページの寄附者名簿の中に本市在住の方の氏名も載っているが、本市在住の方もふるさと納税はできるのか。</p> <p>(2) 「(仮称)京都・亀岡ふるさと納税推進事業」に関する企画提案を募集された結果、応募状況はどうだったのか。</p> <p>(3) 本年3月現在では、ふるさと納税はどれくらいまで伸びているのか。</p> <p>(4) 今後、他市の状況も研究し、ふるさと納税の展開を図る抱負は。</p> <p>亀岡市プレミアム付き電子商品券「亀岡プレミアムカード」について問う。</p> <p>(1) 事前入金分(プリペイド方式分)の利用期間が昨年未で終了したが、売上状況と利用状況はどうだったか。</p> <p>(2) カード保有者は2万4千人と従来の保有者から4千人増えたが、キャッシュバック分の利用期間が2月末で終了した。キャッシュバック分の利用期間の周知徹底と利用状況は。(未利用消滅はないか)</p> <p>(3) 「亀岡プレミアムカード」の今後の利活用計画は。来年度もプレミアム計画はあるのか。</p> <p>12月定例会の一般質問では、「企業立地の促進は、雇用機会の創出により、人口減少の歯止めにつながることから、企業誘致を今後も積極的に行っていく。」「亀岡市の優位性をさらにPRし、機会あるごとにトップセールスを強化するなど、引き続き京都府などの関係機関と協力して誘致活動に努めていく。」と答弁された。</p> <p>(1) 最近、大井町南部土地区画整理事業用地の工業用地がほぼ空きがない状態と聞くが、新しい企業誘致が進展したのか。</p> <p>(2) 今後の平成28年度、29年度の企業立地予定はどのようになっているか。(社名を公表できれば件数だけでもよい。)</p> <p>(3) 今後の工業用地の整備・拡充についてはどのよ</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		4 空き家対策について	<p>うに考えるか。</p> <p>(4) トップセールスについて、今後の考えや目標は。</p> <p>今まで何回となく「空き家対策」については議会質問で取り上げてきたが、納得のいく答弁がなかった。また、再三、実態調査をするよう申し上げてきたが、された様子もなかった。</p> <p>(1) 昨年6月から12月までの半年間、空き家の実態調査をされたかどうか。</p> <p>(2) 桂川市長の下で市長公室を設置し、ふるさと創生課を新設して「空き家を有効活用した定住促進」にも取り組まれると聞くが、市長の考えは。</p> <p>(3) 最近も「隣の空き家の屋根が落ち、トタンや家の中のものが飛んでくる。また風が吹けば夜中でもガタガタと大きな音がする。雨が降ればいつ倒壊してくるか分からない。何とかしてほしい。」との苦情が寄せられている。この様な苦情に対処するため、亀岡市においても、実行力のある「空き家管理条例」等を制定する考えはあるか。</p>	市長 所管部長
13	小松 康之 3月10日(木) 10:00~ 一問一答	1 公共交通について	<p>篠地区における公共交通空白地域の解消や利便性の向上を目指すため、コミュニティバスの試験運行が実施されている。また、同バス東コースにおいては、上矢田停留所が新設される。西つつじヶ丘は人口密集地域であり、丘陵地もある地域で高齢化も進んでいる。</p> <p>(1) 2月19日の亀岡市地域公共交通会議において西つつじヶ丘への延伸の議論はあったか。</p> <p>(2) 上矢田バス停から年谷川を渡ればすぐに西つつじヶ丘に入る。京阪京都交通と競合せず、わずかな距離の延伸はできないのか。</p>	市長 所管部長
		2 空き地等の適正管理について	<p>危険な状況で放置された空き家・空き地の危険除去のため、条例を制定し命令や代執行の行政処分に踏み切る地方自治体が増えてきている。</p> <p>(1) これらの条例と「空家等対策の推進に関する特別措置法」との比較について問う。</p> <p>(2) これまで空き家・空き地に関する市民からの苦情やトラブルの件数は。</p> <p>(3) それらの諸問題を解決した割合は。</p> <p>(4) 解決できた場合に取った手段にはどのようなものがあったのか。</p> <p>(5) 解決できない事例があればその理由は。</p> <p>(6) 環境面ではなく危険防止の面において適用できる条例や法律はあるのか。</p>	市長 所管部長
		3 ごみ屋敷問題について	<p>ごみ屋敷問題について問う。</p> <p>(1) ごみ屋敷について把握している件数は。</p> <p>(2) 環境面での指導的助言とは。</p> <p>(3) ごみ等が道路まではみ出ている場合はどのような指導をしているのか。</p>	市長 所管部長
		4 全国学力テストについて	<p>文部科学省は、平成26年度のテストから市町村別や学校別の成績公表を解禁した。また2月18日には、城陽市に学力テストの小中学校別の平均正答数や平均</p>	市長 教育委員長 教育長

			<p>正答率、学習状況調査の結果などを開示するよう命じた京都地裁の判決があった。</p> <p>(1) 第2回亀岡市総合教育会議で「かめおか・未来・チャレンジビジョン」が協議されたが、学力向上の議論はあったのか。</p> <p>(2) 市長は同ビジョンの中で、全国学力調査について触れているが、同調査の学校別結果公表をどう考えているか。</p>	
14	<p>田中 豊</p> <p>3月10日(木)</p> <p>10:35～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 TPP協定について</p> <p>2 国営緊急農地再編整備事業について</p> <p>3 子どもの貧困について</p>	<p>安倍政権が2月4日にTPP協定に署名したことに 関して所見を問う。</p> <p>(1) 自民党の公約違反ではないかと考えるが所見は。 (2) 国会決議にも違反ではないかと考えるが所見は。 (3) 1月4日付け日本農業新聞に掲載された「全国の農協組合長の92%が国会決議を守れていないと答えた」との記事に対する所見は。 (4) 食料自給率への影響はどうか。 (5) 亀岡の農業への影響はどうか。 (6) TPP協定の影響は農業だけでなく多くの分野に及ぶが所見は。 (7) 協定の批准に反対を表明するべきと考えるが所見は。</p> <p>国営緊急農地再編整備事業が進められているが、以下の諸点を問う。</p> <p>(1) 各工区の進捗状況はどうか。 (2) 佐伯工区の進捗状況と工事計画はどうか。 (3) 埋蔵文化財の発掘調査が行われているが、調査の特徴はどうか。 (4) 発掘調査の完了見通しはどうか。 (5) 佐伯工区の排水計画はどうか。 (6) 下流の天川地域の同意はどうか。 (7) 菰川の河川改修との整合性はどうか。</p> <p>貧困と格差がますます拡大している中で、子どもの貧困は深刻になっている。</p> <p>(1) 平成25年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が全会一致で成立し3年を迎えようとしているが、この法律の実効性についての所見は。 (2) 本市における子どもの貧困の状況はどうか。 (3) 小中学校の児童生徒の就学援助の受給状況は。(小中別に) (4) 就学援助受給家庭の年収の分布状況は。 (5) 就学援助受給家庭の世帯構成は。 (6) 子どもの貧困を少しでも改善するために、亀岡市として実施しようとする施策は何か。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
15	<p>奥村 泰幸</p> <p>3月10日(木)</p> <p>11:10～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 市役所の開庁について</p>	<p>市役所の開庁について問う。</p> <p>(1) 3月下旬から4月上旬にかけて窓口業務が混雑している。市民課の来客数など、その実態は。 (2) 3月下旬から4月上旬の窓口業務に係る開庁時間の延長について所見は。 (3) 同時期の窓口業務に係る土曜日・日曜日の開庁について所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 固定資産税・都市計画税について</p> <p>3 「亀岡の行事と行事食」冊子について</p>	<p>固定資産税・都市計画税について問う。</p> <p>(1) 亀岡市の固定資産税率(標準・制限)、都市計画税率(制限)は。</p> <p>(2) 京都府下市町の固定資産税率(標準・制限)、都市計画税率(制限)は。</p> <p>(3) 固定資産を標準税率で課税している全国の市町村数と割合は。</p> <p>(4) 都市計画税を制限税率で課税している全国の市町村数と割合は。</p> <p>(5) 標準税率(1.4%)で試算した場合の固定資産税額、制限税率(0.3%)で試算した場合の都市計画税額は。</p> <p>(6) 税率の変更の考えは。</p> <p>「亀岡の行事と行事食」冊子の制作について問う。</p> <p>(1) 冊子制作の目的は。</p> <p>(2) 発行記念イベントはどのように実施するのか。</p> <p>(3) 今後の活用についての考えは。</p>	<p>担当副市長 所管部長</p> <p>担当副市長 所管部長</p>
16	<p>小川 克己 3月10日(木) 13:00~</p> <p>一括</p>	<p>1 ふるさと納税について</p> <p>2 亀岡市バリアフリー基本構想について</p> <p>3 市道川関小林線の安全対策について</p>	<p>京都・亀岡ふるさと力向上寄附金1億円に向けての取り組みについて問う。</p> <p>(1) 桂川市長就任から力を入れていただいているが実績は。</p> <p>(2) ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」に亀岡市も広報をされている。クレジットカード決済可の自治体も増えており、「ふるさとチョイス」サイトから寄附金を支払うことができるが、亀岡市はできない。寄附のしやすさについて、本市の考え方は。</p> <p>(3) 今後、寄附金1億円を目指して、返礼品や民間企業とのタイアップなどの考え方は。</p> <p>市北部都市核の拠点として位置付けられているJR千代川駅周辺500メートルの亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地区)が、亀岡市バリアフリー基本構想策定検討協議会で検討され、平成24年度に策定された。</p> <p>(1) 策定以降、検証に基づく問題点の解決等、どのような取り組みをされたのか。</p> <p>(2) 国や府、JRとの協議部分もあるが、今後事業の早期完成に向けた取り組みの方向性は。</p> <p>市道川関小林線は、路肩のカラー化や路面標示、速度抑制など様々な取り組みが進められているが、現状の道路事情を踏まえ今後の安全対策について問う。</p> <p>(1) 平成26年度地域こん談会で自治会から要望された通学路の安全対策案、日吉台区から北方向へ湯井区の農道を整備して小学校南側に登校する案が最善の解決策だと考えるが所見は。</p> <p>(2) 生活道路として高齢者の方も多く利用している。速度規制についての所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>

17	<p>小島 義秀 3月10日(木) 13:35~</p> <p>一問一答</p>	1 放課後児童会について	<p>本市が「選ばれるまち」「住み続けたいまち」になるための重要な施策の一つである子育て施策、放課後児童会について問う。</p> <p>(1) 入会児童数は増加傾向にあると思われるが、放課後児童会の必要性について問う。 現在の入会児童数は。 今後の入会児童数予測は。 対象学年の拡大は。 現在の開設時間と今後の方向性は。 本施策による効果をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 支援員の実情について問う。 現在の支援員数は。 採用基準は。 支援員の平均年齢は。 就労形態は。 各種社会保険は。 年次休暇等の取得は。 研修制度は。 他市と比較しての違いはあるのか。 今後の方向性は。</p>	市長 教育長 所管部長
18	<p>奥野 正三 3月10日(木) 14:10~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 西部地域の消防行政について</p> <p>2 学校規模適正化について</p> <p>3 市道平松中野道線の安全対策について</p>	<p>毎年地域こん談会で西部地域の共通要望として、消防分署の新設を求める意見が出されている。貴重な人命・財産を守るための、より早い消火、救急搬送等、緊急な対応が必要と考える。</p> <p>(1) 中部広域消防組合全域において西部地域は、どのような位置付けになっていると認識しているか。</p> <p>(2) 現在の西部地域における消防、救急搬送の対応について所見は。</p> <p>(3) 少子高齢化が進む中、消防団員不足に悩む地域への考えは。</p> <p>(4) 西部地域に分署、又は派出所の新設についての所見は。</p> <p>少子化等に伴い、児童生徒数が減少している小規模学校と、住宅開発により児童生徒数が急増し、大規模化している学校があり、教育上・学校運営上様々な課題が指摘されている中で、この1月に学校規模適正化基本方針(案)が示されたことについて問う。</p> <p>(1) 学校規模適正化を検討するに至った背景は。</p> <p>(2) 学校規模適正化検討委員はどう決まったのか。</p> <p>(3) 会議規則には、委員任期は2年以内とあるが、1年で交代されている委員があることについての考えは。</p> <p>(4) 今後の進め方は。</p> <p>市道平松中野道線は、国道477号からグリーントウン区内、平松台区内へ通じる市道で、ふるさとバスの路線、また通学路でもあり道路の拡幅・整備をすべきと考える。</p> <p>(1) 現在の市道平松中野道線をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) ふるさとバス路線・通学路・生活道路としての、</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 保育所・幼稚園園庭の芝生化について</p> <p>4 北陸新幹線について</p>	<p>鳥取方式による園庭芝生化では、子どもたちの発育に多大な効果が生まれている。亀岡市も積極的に推奨すべきと考える。</p> <p>(1) 芝生化の実施による子どもたちへの効果をどのように把握されているか。</p> <p>(2) 実施に向けた見解は。</p> <p>2月11日ガレリアかめおかにて2016北陸新幹線小浜ルート建設促進総決起集会が1000人規模で行われ、京都府知事に対しても要望された。現状に対して何う。</p> <p>(1) 知事への要望時の内容はどうか。</p> <p>(2) ここ近年のルート決定の様々な動き、特に京都府の動きはどうか。</p> <p>(3) 口丹波建設促進協議会の42年間の活動に対する代償をどう考えるか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長</p>
--	--	---	--	--------------------------------------